

## 中期経営計画における経営目標・経営指標の進捗状況

法人名等	目標の内容・実績			
<b>【法人名】</b> 公益財団法人 埼玉県国際交流協会	目標	外国人総合相談センター埼玉の利用増を図る	日本人留学経験者や外国人留学生の就職支援を行う	ボランティアの活用による外国人への支援、国際協調の推進を図る
		○外国人総合相談センター埼玉における相談実施件数	○グローバル人材育成センター埼玉を通じた就職マッチング件数	○多文化共生・国際交流ボランティア等登録者数
	各年度の実績	【令和4年度実績】 6,224件	【令和4年度実績】 1,069件	【令和4年度実績】 1,689人
<b>【中期経営計画の期間】</b> 令和4年度～令和6年度	法人による自己評価	令和4年末の埼玉県の在留外国人数は21万2,624人と過去最高を記録した。在留外国人数の増加に伴い、在留資格や外国人登録、帰化等の相談を中心に相談件数が増加したことなどから目標件数に到達した。 また、令和4年度は122件のウクライナ避難民に関する相談に対応した。 令和5年度も引き続き、きめ細かな相談対応に努めてまいりたい。	例年、ソニックシティで開催している就職面接会にて多数の出展企業の協力の下、集中的にマッチングを実施している。 アフターコロナを見据え企業の採用意欲が回復したことなどから出展企業数は増加した。マッチング件数も令和3年度と比べて135件増加したものの、わずかに目標件数には到達しなかった。 令和5年度は、労働局等の他機関との連携を強化し、効率的・効果的な就職マッチングの実施に努めてまいりたい。	通訳・翻訳ボランティアの登録を受け付け、依頼に応じ法律相談や病院診療時の通訳に登録者を紹介した。34言語の登録があるが、希少言語では登録者が少なく紹介できないケースもあるため、随時HPやSNSにより募集を呼びかけ登録者の増に努めた。 世界へのトビラ講師やホームステイボランティア登録家庭についても、様々な機会を捉えてPRに努め登録者を増やしてまいりたい。